

## SAJジュニア検定(ターンチャレンジ)について

■3日間集中レッスンのジュニア検定は今年度より、従来のタイム計測からターン技術の評価する検定に変更となります。

区分	種目	斜面設定他	評価方法	合否基準
1級	総合滑降 リズム変化(2回以上) 最大2回滑走し、2回滑走した場合は、評価の良い方を採用	ナチュラル・中急斜面 約200m パラレルスタンスはワイドスタンスも可 内スキーのアウトエッジを使用	パラレルスタンス・リズム変化・ 斜面对応を◎○△で評価	3項目全て○以上
2級	総合滑降 リズム変化(1回以上)	ナチュラル・中急斜面 約150m パラレルスタンスはワイドスタンスも可	講習内評価:パラレルスタンス・ リズム変化・斜面对応を◎○△ で評価	3項目全て○以上
3級	①ベーシックパラレルターン(大回り) ②連続ターン(小)&横向き停止	整地・緩～中斜面 連続ターンのスタンスはパラレルまたは プルーク可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (2種目)	2種目全て○以上
4級	連続ターン(大回り)4回転	整地・緩～中斜面 パラレルまたはプルークスタンス可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (1種目)	○以上
5級	連続ターン(目印あり)4回転	整地・緩斜面 パラレルまたはプルークスタンス可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (1種目)	○以上
6級	直滑降から停止	整地・緩斜面 停止時のスキーの向きは自由	講習内評価:停止技術の運動課 題を◎○△で評価(1種目)	○以上

※全日本スキー連盟の規定規約改定で従来のタイム計測検定のほかに、新たにターン技術の評価する検定も実施可能となった。

※「○」が合格の基準となり、評価は1名または2名の検定員によって実施する。

※全検定員のそれぞれの評価に数値(◎=3点、○=2点、△=1点)を割り当てた上で平均値を算出し、小数点第1位を四捨五入し最終評価とする。

なお、平均値を四捨五入した結果が2点となった場合は「○」として合格とする。

※1級は試技の回数を1回で実施するか2回で実施するかは実施団体が当日の状況をみて判断し、受検者に事前に公示する。

※ターン検定1級と、前年度実施のタイム検定1級の両方合格した方は申請手続きを経てスーパージュニアに認定し、級別1級を受検することができる。